

【高粘度用スプレーガンの選定】

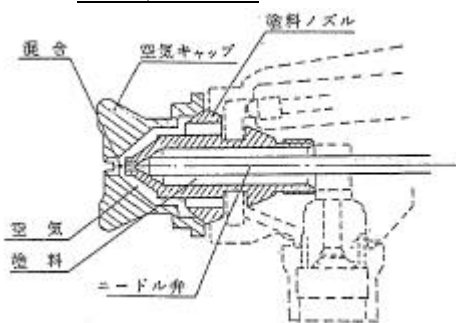
どこが違うの？ どう違うの？

(W-2001)

『建築外壁・内壁（通称ゾラガン）』



内部混合



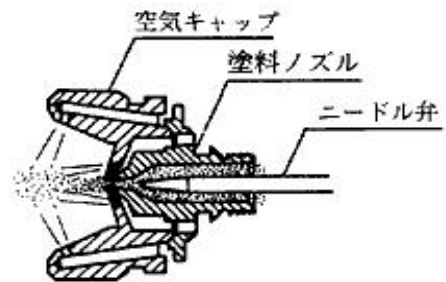
- ① 空気と塗料が空気キャップの内部で混合される事で霧化効率が高く微粒化出来る
- ② 一つの空気キャップでのパターン幅調節は出来ないが、空気キャップの変更で調節可能。また、一定の量を塗布出来る。
- ③ キャップ付近に塗料が溜まり汚れやすいので注意が必要
- ④ 二液ゲルコート・多彩模様塗装向き

(W-2003)

『接着剤・その他高粘度塗料』



外部混合

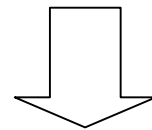


- ① パターン幅を自由に調節出来る
- ② 空気量を調節出来るので外観を多少重視する塗装向け
- ③ 厚膜をつくる塗装に向いている

【汎用スプレーガン圧送式&加圧タンクの仕様と比較】



高粘度用スプレーガンはコンプレッサーから入った空気がそのままコンテナに入り、空気圧で塗料が押し上げられる。



しかし・・・

※左記の組み合わせの場合、コンテナからガンへの接続ホースの長さ分、圧力が落ちると同時に塗料の抵抗が大きくなり吐出量が減少する